科目名 Subject	ダイバーシティー心理学 Diversity Psychology			教員名	坂部　崇政	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	講義	時間	30時間	
実践的教育						

主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	◎		○	◎		

科目の概要	ダイバーシティとは，性別，国籍，人種，民族，出自，宗教，LGBTなどの性的指向／性自認，年齢，障がいなど，一人ひとりがもつ特徴の「多様性」のことです。本科目では，さまざまな価値観を知ることで，自己の個性と他者の個性を同等に尊重できることを目指して展開していきます。
授業方法	対面とオンラインのハイブリッド
授業の目標	自己の個性と他者の個性を同等に尊重できる。 異文化理解・異文化コミュニケーションの基礎知識を身につけ，その知識を日常生活で活用するとともに、多様性に関わる様々な課題の解決にあたることができる。
時間外学習 （予習・復習）	各回の復習および次回の内容に関する予習を行っておくようにしてください。（60分）
教科書・教材	教科書：なし 教材：なし 使用設備・備品：なし 参考文献：なし
評価方法	授業態度（30%），小課題（20%），レポート（50%）などから総合的に評価します。 **なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。**
学生へのフィードバックの方法	レポートに対して、コメントを返します。
履修上の注意	授業進行の妨げとなるような行為には退出を命ずることがあります。グループワークやディスカッションでは積極的に意見を伝え，円滑にコミュニケーションを図って参加してください。
本科目履修と関連する資格	資格名：なし

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	ガイダンス	授業の進め方を理解し，この授業の全体像を把握する。	ダイバーシティの考え方について調べる
第２回	ダイバーシティとは何か、その概念について学ぶ	ダイバーシティの概念について説明できる。	今回の復習をし，性別におけるダイバーシティについて調べる
第３回	性別におけるダイバーシティについて学ぶ	性別におけるダイバーシティについて説明できる。	今回の復習をし，性的指向・性自認におけるダイバーシティについて調べる
第４回	性的指向・性自認におけるダイバーシティについて学ぶ	性的指向・性自認におけるダイバーシティについて説明できる。	今回の復習をし，年齢におけるダイバーシティについて調べる
第５回	年齢におけるダイバーシティについて学ぶ	年齢におけるダイバーシティについて説明できる。	今回の復習をし，障がいにおけるダイバーシティについて調べる
第６回	障がいにおけるダイバーシティについて学ぶ	障がいにおけるダイバーシティについて説明できる。	今回の復習をし，文化を学ぶことの意義について調べる
第７回	文化について学ぶ	さまざまな文化の違いについて理解し，説明できる。	今回の復習をし，ステレオタイプについて調べる
第８回	ステレオタイプについて学ぶ	ステレオタイプについて説明できる。	今回の復習をし，異文化コミュニケーションのついて調べる
第９回	異文化コミュニケーションについて学ぶ	異文化コミュニケーションを学ぶことの意義について説明できる。	今回の復習をし，文化の違いによるコミュニケーションの差異を調べる
第１０回	コミュニケーション・スタイルについて学ぶ	文化によるコミュニケーションの違いについて説明できる。	今回の復習をし，言語コミュニケーションについて調べる
第１１回	言語コミュニケーションについて学ぶ	言語コミュニケーションについて説明でき，実践できる。	今回の復習をし，非言語コミュニケーションについて調べる
第１２回	非言語コミュニケーションについて学ぶ	非言語コミュニケーションについて説明でき，実践できる。	今回の復習をし，アサーティブコミュニケーションについて調べる
第１３回	アサーティブコミュニケーションについて学ぶ	アサーティブコミュニケーションについて説明でき，実践できる。	今回の復習をし，異文化コミュニケーション能力を高める方法を調べる
第１４回	グループワークから学ぶ	グループワークを通して，異文化コミュニケーションの必要性について理解し，述べることができる。	今回の復習をし，グループワークから学んだことをまとめる
第１５回	まとめ	これまでに学んだ知識やスキルを日常の中でどのように活用できるかを説明できる。	今回の復習と全体のまとめをする